

報告

世界天文年、6500 万人以上が星を見た！

～「めざせ 1000 万人！みんなで星を見よう」実施報告～

石坂千春（大阪市立科学館）、渡部潤一（国立天文台）、井上毅（明石市立天文科学館）、ほか「めざせ 1000 万人！みんなで星を見よう」実行委員会一同ⁱ

1. はじめに

世界天文年 2009 に、日本全国で一体、どれだけの人々が星を見たのだろうか？

我々は世界天文年の理念「一人ひとりが空を見つめ、宇宙・地球・人間に思いをはせる」ことを一人でも多くの方に実践してもらうため、「国民の 10 人に 1 人に星を見せる！」心意気で「めざせ 1000 万人！みんなで星を見よう」プロジェクト（以下「1000 万人」）を実施した。「1000 万人」は世界天文年 2009 日本委員会主催企画であった。

「1000 万人」は、星を見た人にホームページから、いつ、どこで、何を、何人の人と一緒に見たのか、ということを経験してもらい、というゆる～いプロジェクトではあるが、一般市民に広く大規模に直接呼びかけを行なう点で世界初の試みであった。

また、全国約 500 ヶ所の天文関係施設の利用者数を網羅的に毎月・都道府県別に集計した。このような全国的な一斉調査を実施するのは今回が初めてである。

これらの調査により、星見人口の月毎の変動、都道府県別の傾向など興味深い結果が得られ、さらに、全国の年間の「星を見た人」の総数も推計できたので、報告する。

2. 調査方法

「星を見た」人数の集計には以下の 2 通りの方法をとった。

2.1 個人集計

星を見た人にホームページ[1]から自主的に報告を挙げてもらうものである。「1000 万

人」ホームページの集計システム構築および運用はひとえに実行委員である福原直人氏の力によるところが大きい。

2.2 施設集計

一般に公開されている全国の天文関係施設への利用者数調査である。調査は全国に配置された 50 名の連絡員ⁱⁱが各施設に毎月聞き取りを行なう方法で実施した。

天文関係施設には、公開天文台のみならず、天文年の理念である「宇宙に思いをはせる」場所としてプラネタリウムも数え、さらに天文教育関係団体に所属しない青少年の家や望遠鏡付き民間宿泊施設等が含まれている。

連絡員の徹底リサーチにより、全国 533 施設を網羅的にリストアップできた（図 1）。



図 1 全国の天文関係施設集計に参加した 473 施設の所在地をプロットした。施設一覧は別に記載する。

3. 結果

集計結果は以下のとおりである。これらの詳細な結果は「1000 万人」のホームページ[1]を参照いただきたい。

個人集計総数 653,298 人
 +施設集計総数 6,724,053 人
 うち、プラネタリウム 5,782,766 人
 観望会 941,287 人
 -個人集計と施設集計の重複 67,666 人
 =総計 7,309,685 人

施設集計調査対象 533 ヶ所のうち調査参加施設は 473 ヶ所、参加率は 88.7%であった。

3.1 月ごとの増減

月ごとの集計結果を表 1、図 2 に示す。

星を見た人は、夏休みである 8 月にもっとも多くなっている。2009 年に特異な事例として 7 月 22 日の日食、10 月 3 日の月見(十五夜)があり、7、10 月の観察者が多くなった。

表 1 月別集計結果

種別	プラネ	観望会	個人
1 月	310,383	38,233	26,024
2 月	328,563	43,325	15,968
3 月	359,534	48,067	9,361
4 月	265,799	52,931	10,048
5 月	537,706	81,617	15,615
6 月	546,909	56,845	8,719
7 月	819,649	212,612	109,850
8 月	997,122	148,381	131,439
9 月	497,529	88,068	33,671
10 月	475,512	90,716	195,050
11 月	388,734	50,131	27,867
12 月	255,326	30,361	69,686
計	5,782,766	941,287	653,298

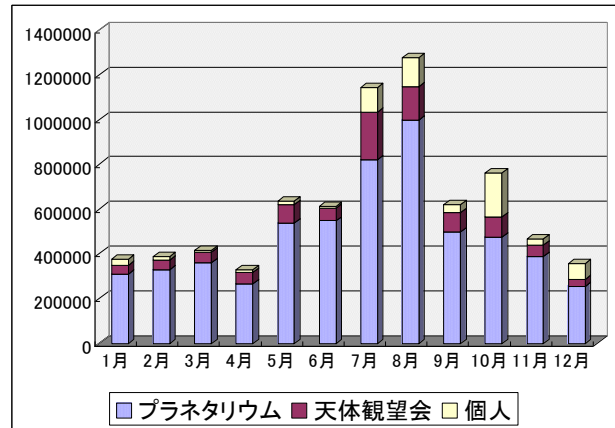


図 2 月ごとの星見人口の増減

月別の集計結果をグラフにした。夏休みである 8 月がピークとなっている。2009 年に特異な事例として 7 月 22 日の日食、10 月 3 日の月見(十五夜)が挙げられる。

3.2 都道府県別の動向

都道府県別の集計結果が表 2 であり、人口 1000 人当たりの比率を表示したのが図 3 である(都道府県人口は平成 17 年国勢調査[2]、図示化は[3]による)。

人口 1000 人当たりで、「星を見た」のべ人数が 100 人を超えた、つまり「国民の 10 人に 1 人以上が星を見た」ところが 3 県あった。

富山県(119 人)、佐賀県(111 人)、山梨県(105 人)である。敬意を表したい。

表 2 都道府県別集計結果

種別	プラネ	観望会	個人
北海道	244,656	61,166	8,822
青森県	29,850	5,830	4,014
岩手県	52,044	7,884	2,259
宮城県	162,672	12,020	14,145
秋田県	46,720	708	3,907
山形県	21,539	2,347	1,453
福島県	122,461	29,784	7,198
茨城県	152,500	6,233	7,180
栃木県	62,672	21,532	1,660

群馬県	139,831	38,090	7,352
埼玉県	242,089	16,933	9,456
千葉県	222,880	18,599	3,316
東京都	943,216	27,955	106,186
神奈川	381,602	21,817	11,316
新潟県	110,789	12,788	35,686
富山県	100,144	12,621	18,519
石川県	78,642	9,576	3,627
福井県	42,575	11,197	2,884
山梨県	46,916	38,181	8,605
長野県	98,319	21,478	43,948
岐阜県	87,126	24,284	6,125
静岡県	103,898	25,808	9,603
愛知県	459,367	38,807	16,323
三重県	69,802	18,251	6,645
滋賀県	48,683	4,939	1,091
京都府	134,707	23,627	7,765
大阪府	362,139	28,209	115,515
兵庫県	352,787	89,700	52,197
奈良県	4,300	1,568	1,299
和歌山	26,405	6,510	3,356
鳥取県	23,967	8,247	2,279
島根県	51,253	18,899	1,422
岡山県	68,641	34,354	10,415
広島県	74,262	16,382	3,903
山口県	20,248	22,923	1,029
徳島県	45,255	5,627	2,158
香川県	52,187	9,635	33,484
愛媛県	74,327	4,649	4,179
高知県	0*	1,896	312
福岡県	121,769	15,154	11,521
佐賀県	66,536	28,201	1,475
長崎県	25,408	57,021	574
熊本県	40,668	11,860	2,550
大分県	24,204	27,322	1,289
宮崎県	54,996	2,667	2,214
鹿児島	50,437	20,054	21,931

沖縄県	37,277	17,954	7,881
他	—	—	23,230
計	5,782,766	941,287	653,298

※高知県には一般公開されているプラネタリウム館がない。

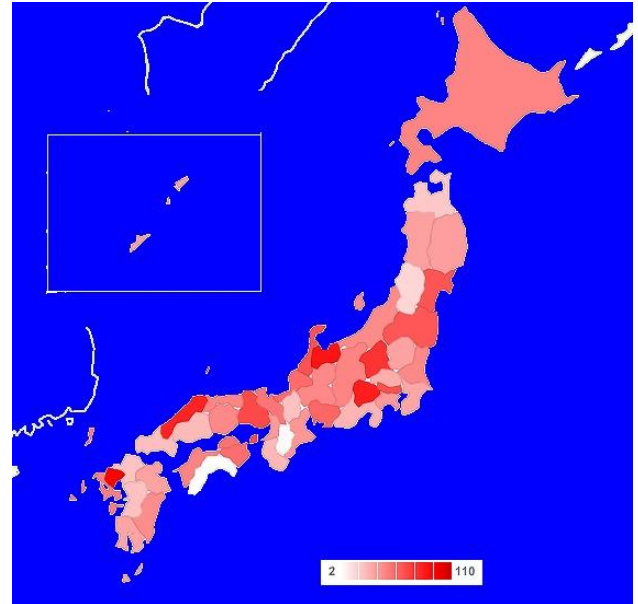


図3 人口1000人当たりの星を見た人数
色が濃いほど、人口当たりの星を見た人数が多い。2009年、富山県、佐賀県、山梨県では、「10人に1人」以上が星を見た。

3.3 全国の「星を見た」人数の推計

では、2009年に日本全国で星を見た人は、のべ何人いたのであろうか？

これは星を見た人のうち、どのくらいの率の人が「1000万人」のホームページに報告を挙げてくれたかがわかれば推測できる。

我々は、ホームページからの個人集計と、施設集計とを併用することにより、その比率を知ることができた。

ホームページ[1]では、報告者がどこで見たのかを記入する欄があった。個人で報告を挙げてくれた人のうち、星を見た場所がプラネタリウムや天文台などの天文関係施設だったのは、67,666人であった。

一方、我々は、実際に天文関係施設に来た人数が6,724,053人であることを知っている。

すなわち、施設で見た 6,724,053 人のうち、「1000 万人」ホームページに報告を挙げたのは 67,666 人、約 1%である。

逆に言えば、「1000 万人」ホームページへの報告数の 100 倍の人が実際には星を見ていたことが推測される。

個人集計の総計は 653,298 人であった。

2009 年、世界天文年に、少なくとも、65 万人×100=6500 万人が星を見たことになる。

4. まとめ

世界天文年 2009 日本委員会の主催企画として、世界天文年の理念を実現するため、「めざせ 1000 万人!みんなで星を見よう」を実施し、貴重な統計データを得ることができた。

天文関係施設を訪れた人は、「1000 万人」プロジェクトを知る機会が一般の人より大きいと思われるので、前章で推計した「6500 万人」という数字は下限値である。したがって、実際にはこの数倍の人がなんらかの形で星を見ているであろう。

2 倍だとして、のべ 1 億 3000 万人。国民 1 人が 1 年間に 1 回は星を見る、という計算だが、どう思われるであろうか…?

平成 21 年の全国の映画館入場者数 1 億 7 千万人弱[4]と比べて、少ないような気がするが、ともかく 1 億人規模の星見人口がある中で、天文関連施設を訪れるのは、その 1 割弱である。

天文教育普及にかかわるものとして、まだまだ進むべき道がある、との思いを強くした。

5. おわりに

「1000 万人」は数多くの方の協力がなければ成功できなかった。特に、施設集計調査に参加して下さった施設の皆様、ありがとうございました。また、連絡員の皆様ⁱⁱには、本務を抱え多忙の中、施設への連絡の労をとっていただき、篤く御礼申し上げます。

施設集計参加施設一覧

北海道 しょさんべつ天文台
 北海道 銀河の森天文台
 北海道 旭川市科学館「サイパル」
 北海道 岩見沢郷土科学館
 北海道 釧路市こども遊学館
 北海道 厚岸町海事記念館
 北海道 札幌市青少年科学館
 北海道 札幌市天文台
 北海道 室蘭市青少年科学館
 北海道 斜里町立知床博物館
 北海道 音別町体験学習センター
 北海道 小樽市総合博物館
 北海道 深川市生きがい文化センター
 北海道 星ヶ丘天文台
 北海道 千歳市民文化センター
 北海道 壮瞥町森と木の里センター
 北海道 帯広市児童会館
 北海道 稚内市青少年科学館
 北海道 苫小牧市科学センター
 北海道 北網圏北見文化センター
 北海道 名寄市プラネタリウム館
 北海道 名寄市立木原天文台
 青森県 天文台「銀河」
 青森県 弘前市立中央公民館
 青森県 十和田市民文化センター
 青森県 総合学校教育センター
 青森県 青森市中央市民センター
 青森県 八戸市視聴覚センター
 岩手県 岩手県立県北青少年の家
 岩手県 きらら室根山天文台
 岩手県 一戸町観光天文台
 岩手県 岩手県立総合教育センター
 岩手県 銀河ステーション天文台
 岩手県 小岩井農場まきばの天文館
 岩手県 盛岡市子ども科学館
 岩手県 奥州宇宙遊学館
 宮城県 仙台市天文台
 宮城県 大崎生涯学習センター
 秋田県 星空探険館スペースアター
 秋田県 秋田県児童会館
 秋田県 秋田県総合教育センター
 秋田県 能代市子ども館
 秋田県 コスモワールド
 山形県 やまがた天文台
 山形県 最上広域教育研究センター
 山形県 鶴岡市視聴覚センター
 山形県 米沢市児童会館
 山形県 北村山視聴覚教育センター
 福島県 国立 磐梯青年の家
 福島県 さくら湖自然観察ステーション
 福島県 針生天文台
 福島県 いわき市文化センター
 福島県 マリンパークなみえ
 福島県 ユースゲストハウス ATOMA
 福島県 郡山市ふれあい科学館
 福島県 吾妻高原スターハント
 福島県 鹿角平天文台
 福島県 星の村天文台
 福島県 福島市こむこむ館
 福島県 福島市浄土平天文台
 福島県 フィールドイン楓林舎
 福島県 ペンションどんぐり
 茨城県 アストロさとみ
 茨城県 けんしん天体研修館
 茨城県 さしま郷土館ミュージズ
 茨城県 つくばエキスポセンター
 茨城県 茨城県立さしま少年自然の家

茨城県	花立山天文台「美スター」	東京都	プラネターリウム銀河座
茨城県	牛久自然観察の森	東京都	ベネッセ・スター・ドーム
茨城県	国立科学博物館筑波	東京都	葛飾区郷土と天文の博物館
茨城県	パークアルカディア	東京都	荒川区立教育センター
茨城県	城里家族旅行村	東京都	国立科学博物館 上野本館
茨城県	大野潮騒はまなす公園	東京都	社会教育用公開望遠鏡
茨城県	日立シビックセンター科学館	東京都	新宿区立教育センター
栃木県	益子町スペース 250	東京都	杉並区立科学館
栃木県	佐野市こどもの国	東京都	世田谷区立教育センター
栃木県	鹿沼市民文化センター	東京都	足立区青少年センター
栃木県	小山市立博物館	東京都	多摩六都科学館
栃木県	真岡市科学教育センター	東京都	中央区立教育センター
栃木県	星ふる学校「くまの木」	東京都	なかのZERO
栃木県	大田原市ふれあいの丘	東京都	東大和市立郷土博物館
栃木県	大平町児童館	東京都	すみだ学習ガーデン
栃木県	栃木県子ども総合科学館	東京都	日本科学未来館
栃木県	栃木県立太平少年自然の家	東京都	八王子市子ども科学館
群馬県	ぐんまこどもの国児童会館	東京都	板橋区立教育科学館
群馬県	伊勢崎市児童センター	東京都	府中市郷土の森博物館
群馬県	桐生市立中央公民館	東京都	東京モバイルプラネタリウム
群馬県	群馬県みかぼみらい館	神奈川県	カナコー天文台
群馬県	群馬県生涯学習センター	神奈川県	伊勢原市立子ども科学館
群馬県	群馬県立ぐんま天文台	神奈川県	横浜モバイルプラネタリウム
群馬県	群馬県立自然史博物館	神奈川県	海老名市教育センター
群馬県	向井千秋記念子ども科学館	神奈川県	厚木市子ども科学館
群馬県	高崎市少年科学館	神奈川県	七沢自然ふれあいセンター
群馬県	前橋市児童文化センター	神奈川県	はまぎん子ども宇宙科学館
群馬県	利根沼田文化会館	神奈川県	湘南台文化センター子ども館
埼玉県	さいたま市宇宙劇場	神奈川県	神奈川県立青少年センター
埼玉県	さいたま市青少年宇宙科学館	神奈川県	川崎市青少年科学館
埼玉県	越谷市立児童館コスモス	神奈川県	相模原市立博物館
埼玉県	加須未来館	神奈川県	相模川ビレッジ若あゆ
埼玉県	岩槻児童センター	神奈川県	多摩天体観測所
埼玉県	寄居町かわせみ荘	神奈川県	平塚市博物館
埼玉県	吉川市児童館ワンダーランド	神奈川県	大平技研
埼玉県	久喜総合文化会館	新潟県	ドーム中里 き☆ら・ら
埼玉県	狭山中央児童館	新潟県	村上市教育情報センター
埼玉県	熊谷市立文化センター	新潟県	魚沼市自然科学館「星の家」
埼玉県	戸田市こどもの国	新潟県	国立妙高青少年自然の家
埼玉県	鴻巣市立鴻巣児童センター	新潟県	上越清里星のふるさと館
埼玉県	坂戸市立坂戸児童センター	新潟県	上越青少年文化センター
埼玉県	埼玉県立小川げんきプラザ	新潟県	新潟県立自然科学館
埼玉県	埼玉県立名栗げんきプラザ	新潟県	新潟市教育相談センター
埼玉県	上尾市自然学習館	新潟県	ポーラスター神林
埼玉県	新座市児童センター	新潟県	胎内自然天文館
埼玉県	もくせい館	新潟県	長岡市青少年文化センター
埼玉県	川越市児童センター	新潟県	柏崎市立博物館
埼玉県	川口市立科学館	新潟県	魚沼市堀之内公民館
埼玉県	朝霞市中央公民館	新潟県	八海山セミナーハウス
埼玉県	入間市児童センター	新潟県	三条市しらさぎ荘
埼玉県	北本市文化センター	新潟県	みかわ天文台
千葉県	休暇村 館山	新潟県	あてま天文台
千葉県	市川市少年自然の家	富山県	あおき天文台
千葉県	習志野市総合教育センター	富山県	国立立山青少年自然の家
千葉県	松戸市民会館	富山県	黒部市吉田科学館
千葉県	「水の館」プラネタリウム	富山県	富山市科学博物館
千葉県	君津亀山少年自然の家	富山県	富山市天文台
千葉県	手賀の丘少年自然の家	富山県	天湖森 天体観測施設
千葉県	水郷小見川少年自然の家	富山県	天文台てるてるぼうず
千葉県	大房岬少年自然の家	富山県	二上まなび交流館
千葉県	千葉市科学館	石川県	七塚生涯学習センター
千葉県	船橋市総合教育センター	石川県	コスモアイル羽咋
千葉県	銚子市青少年文化会館	石川県	銀河の里キゴ山
千葉県	長生村文化会館	石川県	山中児童センター
千葉県	柏プラネタリウム	石川県	石川県柳田星の観察館
千葉県	白井市文化センター	石川県	子ども交流センター 小松館
千葉県	八千代市少年自然の家	石川県	いしかわ子ども交流センター
東京都	サンシャイン満天	石川県	子ども宇宙科学室

石川県	工房ヒゲキタ	静岡県	三島市立箱根の里
石川県	国立能登青少年交流の家	静岡県	静岡県総合教育センター
福井県	南越前町河野天文学習館	静岡県	朝霧野外活動センター
福井県	敦賀市立児童文化センター	静岡県	豊田図書館天体観測室
福井県	福井県児童科学館	静岡県	浜松科学館
福井県	福井県自然保護センター	静岡県	浜松市天文台
福井県	福井市自然史博物館	愛知県	旭高原元気村「ミラッセ」
山梨県	羽村市自然休暇村	愛知県	安城市文化センター
山梨県	岩殿山ふれあいの館	愛知県	一宮地域文化広場
山梨県	山梨県立科学館	愛知県	刈谷市中央児童館
山梨県	八ヶ岳少年自然の家	愛知県	小牧中部公民館
山梨県	清里高原ホテル	愛知県	西尾市寺津公民館
山梨県	ウィルシステムデザイン	愛知県	津島児童科学館
山梨県	スターパーティ	愛知県	スターフォーレスト御園
山梨県	ねむのきペンション	愛知県	半田空の科学館
山梨県	ペンション・モーツァルト	愛知県	尾張旭スカイワードあさひ
山梨県	ペンションアルペジオ	愛知県	豊橋市視聴覚教育センター
山梨県	ペンションエストレリータ	愛知県	豊川市ジオスペース館
山梨県	ペンションスケッチブック	愛知県	とよた科学体験館
山梨県	ペンション森の椅子	愛知県	豊田市総合野外センター
山梨県	モンテローザ	愛知県	名古屋科学館
山梨県	八ヶ岳ロイヤルホテル	三重県	スカイランドおおぼら
山梨県	八田村ふるさと天文館	三重県	三重県総合教育センター
山梨県	キープ自然学校	三重県	三重県立みえこどもの城
山梨県	明野ふれあいの里	三重県	熊野少年自然の家天文台
山梨県	萌木の村	三重県	四日市市立博物館
山梨県	清里フォトアートミュージアム	三重県	松坂市天文台
山梨県	ペンション ペアハット	三重県	長島ふれあい学習館
山梨県	国際自然大学校 日野春校	三重県	東員町総合文化センター
山梨県	ゲストインレキオ	三重県	尾鷲市立天文科学館
山梨県	ヒュッテ・グーテライゼ!	三重県	鈴鹿市文化会館
山梨県	河口湖上山公園	滋賀県	大津市科学館
長野県	長野県伊那文化会館	滋賀県	滋賀県総合教育センター
長野県	いいつな歴史ふれあい館	滋賀県	ダイニックアストロパーク
長野県	スターペンション ブラザーズ	滋賀県	Digital Star Dome ほたる
長野県	ペンション星の家天文台	京都府	エル・マール・まいづる
長野県	信州高遠青少年自然の家	京都府	るり溪温泉 遊星館
長野県	佐久市子ども未来館	京都府	綾部市天文館パオ
長野県	うすだスタードーム	京都府	アクトバル宇治
長野県	山形村ミラ・フード館	京都府	久御山町ふれあい交流館
長野県	小川天文台	京都府	京丹後市星空体験学習室
長野県	松本市教育文化センター	京都府	京都市青少年科学センター
長野県	上田創造館	京都府	京都府立丹波自然運動公園
長野県	川崎市八ヶ岳少年自然の家	京都府	向日市天文館
長野県	天体観測施設	京都府	福知山市児童科学館
長野県	大町エネルギー博物館	京都府	文化パルク城陽
長野県	長峰山森林体験交流センター	京都府	木津川市加茂プラネタリウム
長野県	長野市立博物館	京都府	山吹ふれあいセンター
長野県	八ヶ岳自然文化園	京都府	花山星空ネットワーク
長野県	飯田市美術博物館	大阪府	大阪狭山市立公民館
長野県	北信濃ふるさとの森文化公園	大阪府	ソフィア堺
長野県	名古屋市民おんたけ休暇村	大阪府	ちはや星と自然のミュージアム
長野県	高峰高原ホテル	大阪府	茨木市立中央公民館
岐阜県	ハートピア安八・天文台	大阪府	貝塚市立善兵衛ランド
岐阜県	各務原市少年自然の家	大阪府	富田林市文化振興事業団
岐阜県	関市まなびセンター	大阪府	堺市人権ふれあいセンター
岐阜県	岐阜市科学館	大阪府	ムーブ 21
岐阜県	高山市飛騨プラネタリウム	大阪府	松原市民松原図書館
岐阜県	財団法人 岐阜天文台	大阪府	吹田市立千里市民センター
岐阜県	三の倉市民の里「地球村」	大阪府	大阪市立科学館
岐阜県	西美濃プラネタリウム	大阪府	総合青少年野外活動センター
岐阜県	大垣市サイトピアセンター	大阪府	五月山児童文化センター
岐阜県	姫治公民館・姫治天文台	大阪府	ドリーム 21
静岡県	月光天文台	大阪府	藤原理科実験教育研究所
静岡県	ディスカバリーパーク焼津	大阪府	枚方市野外活動センター
静岡県	ディスタントサンズ ジャパン	大阪府	LIC はびきの
静岡県	なかかわね三ツ星天文台	兵庫県	にしわき経緯度地球科学館
静岡県	ペンション・プラネタリウム	兵庫県	伊丹市立こども文化科学館

兵庫県	加古川市立少年自然の家	愛媛県	久万高原天体観測館
兵庫県	加古川総合文化センター	愛媛県	三瓶文化会館
兵庫県	香美町立香住天文館	愛媛県	こども館コスモシアター
兵庫県	神戸市立青少年科学館	愛媛県	西条市こどもの国
兵庫県	星の子館	愛媛県	東温市立天体観測室
兵庫県	西宮市立山東自然の家	高知県	梶ヶ森天文台
兵庫県	猪名川天文台・アストロピア	高知県	芸西天文学習館
兵庫県	天文館バルーンようか	高知県	佐川町立山崎記念天文台
兵庫県	南淡路国民休暇村	高知県	西土佐天体観測所
兵庫県	美方高原自然の家とちのき村	高知県	土佐市立中央公民館
兵庫県	姫路科学館	福岡県	小郡市生涯学習センター
兵庫県	兵庫県立教育研修所	福岡県	久留米市天文台
兵庫県	兵庫県立西はりま天文台公園	福岡県	夜須高原青少年自然の家
兵庫県	明石市立天文科学館	福岡県	サンビレッジ茜
奈良県	大塔コスミックパーク星のくに	福岡県	宗像ユリックスプラネタリウム
和歌山県	かわべ天文公園	福岡県	星の文化館
和歌山県	星の動物園 みさと天文台	福岡県	大将陣スタードーム
和歌山県	和歌山市立こども科学館	福岡県	大牟田文化会館
鳥取県	船上山少年自然の家	福岡県	大野城市北コミュニティセンター
鳥取県	鳥取市さじアストロパーク	福岡県	福岡市立少年科学文化会館
鳥取県	米子市児童文化センター	福岡県	北九州市立児童文化科学館
島根県	松江テルサ	佐賀県	佐賀県立宇宙科学館
島根県	安野光雅美術館	佐賀県	唐津市少年科学館
島根県	風の国 桜江天体観測所	長崎県	雲仙諏訪の池ビジターセンター
島根県	出雲科学館	長崎県	佐世保市児童文化館
島根県	松江市立天文台	長崎県	長崎県教育センター
島根県	島根県立三瓶自然館	長崎県	長崎市科学館
島根県	日原天文台	長崎県	白木峰高原コスモス花宇宙館
島根県	雲南七夕星観台 (UTAO)	長崎県	五島市鬼岳天文台
岡山県	かもがわアストロコテージ	熊本県	八代市さかもと八竜天文台
岡山県	岡山県立児童会館	熊本県	熊本県民天文台
岡山県	岡山市立犬島自然の家	熊本県	熊本市立熊本博物館
岡山県	岡山天文博物館	熊本県	合志市西合志図書館天文台
岡山県	牛窓研修センター	熊本県	人吉カルチャーパレス
岡山県	国立吉備青少年自然の家	熊本県	水上村カントリーパーク
岡山県	財団法人倉敷天文台	熊本県	清和高原天文台
岡山県	自然公園大佐山 星空の館	熊本県	南阿蘇ルナ天文台
岡山県	吹屋ふれあいの森天文台	大分県	コンパルホール
岡山県	赤磐市竜天文台公園	大分県	横岳自然公園 キララ館
岡山県	倉敷科学センター	大分県	関崎海星館
岡山県	倉敷市真備天体観測施設	大分県	マリソカルチャーセンター
岡山県	美咲町立さつき天文台	大分県	大分県立九重少年自然の家
岡山県	美星天文台	大分県	県立香々地少年自然の家
広島県	ジミーカーターシビックセンター	大分県	のつはる少年自然の家
広島県	宇根山天文台	大分県	かみうら天海展望台
広島県	県民の浜 天体観測館	宮崎県	宮崎科学技術館
広島県	広島市こども文化科学館	宮崎県	中小屋天文台昇ドーム
広島県	山陽スペースファンタジー	宮崎県	北きりしまコスモドーム
広島県	府中市こどもの国	鹿児島県	スターランドAIRA
広島県	夢天文台 Astro	鹿児島県	輝北天球館
山口県	宇部市視聴覚教育センター	鹿児島県	薩摩川内市せんだい宇宙館
山口県	岩国市科学センター	鹿児島県	県立奄美少年自然の家
山口県	山口徳地青少年自然の家	鹿児島県	鹿児島県立博物館
山口県	総合教育支援センター	鹿児島県	鹿児島市立科学館
山口県	山口県児童センター	鹿児島県	十島村立中之島天文台
山口県	山口県立山口博物館	鹿児島県	薩摩川内市立少年自然の家
山口県	山陽小野田市青年の家	鹿児島県	県立青少年研修センター
山口県	防府市青少年科学館	鹿児島県	鹿児島市立少年自然の家
山口県	萩博物館	鹿児島県	県立南薩少年自然の家
徳島県	阿南市科学センター	沖縄県	沖縄県立総合教育センター
徳島県	あすたむらんど子ども科学館	沖縄県	沖縄記念公園海洋文化館
徳島県	ヒルトップハウス天文台	沖縄県	マリソブルーとかしき
香川県	さぬきこどもの国	沖縄県	波照間島星空観測タワー
香川県	プレイパーク ゴールドタワー	沖縄県	那覇市久茂地公民館
香川県	五色台少年自然の家	沖縄県	石垣島天文台「むりかぶし」
香川県	高松市市民文化センター		
香川県	鉢伏ふれあい公園		
愛媛県	愛媛県総合科学博物館		

i 実行委員会メンバー

- 実行委員長：
 渡部潤一（国立天文台）
- 世話人代表：
 井上 毅（明石市立天文科学館）
 石坂千春（大阪市立科学館）
- 世話人：
 綾仁一哉（美星天文台）
 大川拓也（IYA 日本委員会事務局）
 小野夏子（日本公開天文台協会個人会員）
 小石川正弘（仙台市天文台）
 太井義真（加古川市立少年自然の家）
 寺藺淳也（会津大学）
 豊増伸治（みさと天文台）
 原 秀夫（熊本博物館）
 福澄孝博（TOKARA 中之島天文台）
 福原直人（株式会社ウイル）
 三島和久（倉敷科学センター）
 村松利一（柏プラネタリウム研究会）
 毛利勝廣（名古屋科学館/J P A 広報）
 渡辺 誠（富山市天文台）
- 日食担当：
 石井 馨（日食情報センター）
 大越 治（日食情報センター）
 尾久土正己（和歌山大学）
 篠原秀雄（蕨高等学校）
 高橋 淳（水海道第一高校）
 都築泰久（V I X E N）
- 集計担当：
 渡部義弥（大阪市立科学館）
- 稲垣好孝（四日市市立博物館）
 前田雄亮（京都市青少年科学センター）
 飯山青海（大阪市立科学館）
 笹川 隆（茨木市中央公民館）
 古田恭一（貝塚市立善兵衛ランド）
 田島由紀子（サイエンスデザイナー）
 豊増伸治（みさと天文台）
 井上 毅（明石市立天文科学館）
 石井優子（神戸市立青少年科学館）
 太井義真（加古川市立少年自然の家）
 塚田健（姫路市 宿泊型児童館「星の子館」）
 綾仁一哉（美星天文台）
 竹内幹蔵（島根県立三瓶自然館サヒメル）
 三島和久（倉敷科学センター）
 藤川直子（広島市こども文化科学館）
 松尾 厚（山口県立山口博物館）
 堀 寿夫（阿南市科学センター）
 藤田康英（久万高原天体観測館）
 小野田淳子（宗像ユリックスプラネタリウム）
 中野 多恵（北九州市立児童文化科学館）
 井上香代（佐賀県立宇宙科学館）
 田原真治（長崎市科学館）
 宮本治川（関崎海星館）
 原 秀夫（熊本博物館）
 福澄孝博（TOKARA 中之島天文台）
 田端研二（久茂地公民館）

※所属はいずれも 2010 年 3 月現在

文 献

- [1] <http://star2009.jp/>
 [2] 統計局 <http://www.stat.go.jp/>
 [3] 日本統計地図の作成
[http://www.chireki.com/geography/ajax_](http://www.chireki.com/geography/ajax_geomap_japan.htm)
[geomap_japan.htm](http://www.chireki.com/geography/ajax_geomap_japan.htm)
 [4] 一般社団法人 日本映画製作者連盟
<http://www.eiren.org/toukei/index.html>

ii 施設集計連絡員

- 多胡孝一（釧路市こども遊学館）
 旭 司益（小樽市総合博物館）
 甲田昌樹（青森天文ネットワーク）
 吉田 栄（盛岡市子ども科学館）
 松浦善博（大崎生涯学習センター）
 佐藤理絵（やまがた天文台）
 高橋博子（仙台市天文台）
 水谷有宏（郡山市ふれあい科学館）
 杉中慎（福島市子どもの夢を育む施設こむこむ）
 川崎寿則（日立シビックセンター）
 斎藤 泉（栃木県子ども総合科学館）
 田口 光（県立ぐんま天文台）
 大島 修（群馬県立総合教育センター）
 糸賀富美男（さいたま市宇宙劇場）
 長谷川好世（白井市文化センタープラネタリウム）
 小野夏子（日本公開天文台協会個人会員）
 本間隆幸（府中市郷土の森博物館）
 山田幸一（神奈川県立青少年センター）
 長谷川哲郎（新潟県立自然科学館）
 鈴木 克（胎内自然天文館）
 布村克志（富山市科学博物館）
 土川 啓（石川県柳田星の観察館「満天星」）
 高橋真理子（山梨県立科学館）
 渡辺文雄（上田創造館）
 加藤知永（豊川ジオスペース館）
 毛利勝廣（J P A 広報）
 船越浩海（ハートピア安八）

石坂千春